



輝く！橘中

第15号 令和7年2月5日
文責：大向智樹

【校訓】積極・自主・創造 【本年度の重点目標】自分の考えや思いを表現できる生徒の育成
【5つの行動目標】自分で考え、判断し、責任を持つ お互いの考えや違いを認めて接する 挨拶 時間を守る 清掃

橘中最後の3学期が始まり、1ヶ月経ちました。

橘中学校として最後の学期が始まり、1ヶ月が経ちました。子どもたちが橘中学校の生徒として過ごす時間は徐々に減ってきています。1月7日の3学期始業式からこの1か月間は、特に、3年生の子どもたちにとって、私立高校、有明工業高等専門学校、県立高校特色化選抜、推薦の入試が行われました。今までの成果を試され、自分の進路を実現できる岐路となっています。また、12月から面接の練習を行い、志願理由や中学校生活のこと、高校生活での目標など、自分の言葉で伝えようとしていました。面接を初めて経験することで、ほとんどの子どもたちは緊張感でいっぱいの様子で臨んでいました。1、2年生の子どもたちは、1月30日（木）に標準学力調査に取り組みました。最後まであきらめずに問題に取り組んでいました。学校では、4月からの学習内容の定着度を把握するために実施し、その結果をもとに次年度の取り組みを考えることとします。

さて、始業式で子どもたちに日常の積み重ねを大切にすること、その一瞬一瞬を大切にすることに気づけるように、「俳優 森光子さん」の話をしました。森光子さんは、国民栄誉賞や紫綬褒章などを授与された俳優で、ライフワークと言える舞台『放浪記』を2017回公演され、当時のギネス記録に認定されました。また、劇中のでんぐり返しの場面が有名となりました。森さんは、公演を続けるために、毎日スクワットを100回取り組まれていました。自分の体力を維持することもありましたが、会場に来られる方には、次の日ということはないので、全力で演じることを思い続けていたということです。その姿から、子どもたちに積み重ねることの大切さやその一瞬を大事にすることを学んでほしいと思います。

新生徒会の活動が本格的にスタートしました。

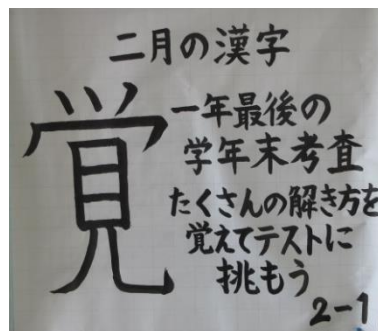
3学期始業式の後に、新生徒会執行部の任命式を行いました。前生徒会執行部からバトンを受け取り、新体制での生徒会活動が始動しました。また、橘中の生徒会として約3か月の活動、そして、4月からの白銀中での活動に取り組んでいくことになります。

2学期終業式の後に、令和6年生徒会執行部の退任式を行いました。10名の執行部の子どもたちが、退任のあいさつをしました。今年度の生徒会スローガンが達成できたことや生徒会活動を進める中で、全員が協力したことへの感謝とともに、できることを精一杯行ったことで充実感や達成感にあふれた表情が見られました。

そして、新生徒会執行部8名の子どもたちは、一人一人決意表明をしました。それぞれの役職で取り組む熱い思いを伝えました。新しいメンバーを中心に、どんな学校をつくっていくのかを、



【2月のイメージ：美術部制作】



【2月の漢字】



【新役員あいさつの様子】

これから具体化していくと思います。また、4月からスタートする白銀中学校の生徒会を田隈中学生徒会とともに作り上げていくことになります。3学期に向けて、リーダー研修会を行い、最後の学期をどんな取り組みをして、橘中のフィナーレを迎えようとするのかを確認する話し合いを重ねていました。

1月8日（水）に専門委員会が行われました。各委員会で取組を話し合っていました。今までは3年生に頼っていた面があったと思います。自分たちで進めていくことの難しさを感じていたようですが、専門委員長によるこれからの委員会活動の方向性をしっかりと伝えていました。そんな様子を見て、安心するとともに頼もしさを感じました。

【令和7年の生徒会役員】

会 長	さん（2の2）	生活委員長	さん（2の2）
副会長	さん（2の1）	保健委員長	さん（2の1）
書 記	さん（1の2）	図書委員長	さん（2の2）
学級委員長	さん（2の1）	給食委員長	さん（2の1）

中学生と市長との意見交換会に参加しました。

1月27日（月）に、大牟田市役所北別館第1会議室で「中学生と市長との意見交換会」が行われ、本校から新生徒会役員の さん、 さん、 さんの3名が参加しました。令和6年1月制定「大牟田市子ども・子育て応援条例」に、子どもの視点や意見を反映することが規定されています。今回は、条例に基づいて、まちづくりについての意見を聴く機会となりました。市内の中学校の代表者が参加して、グループ編成をして話し合いを行いました。「自分の住むまち（地域）を良くするためにできること」をテーマに、自分の住むまち（地域）の良いところや足りていないところを考え、自分たちができると周りの大人などに応援してもらいたいことを話し合っ、各グループの考えをまとめました。休憩後、各グループの発表を行い、関市長から質問やコメントを通して、意見交換ができました。参加した3名の子どもたちは、堂々とした姿で発表を行い、中学生の視点を通した意見を述べていました。「公共施設を大切に使う」「ルールを大人も守る」「交通網の整備」など、印象に残る意見が出ていました。将来のまちづくりの担い手となる子どもたちが意見を発表する経験は、今後の社会参画する意識や力が身についたと思います。この経験を今後の生徒会活動に活かしてくれることを期待しています。



【専門委員会の様子】



【意見交換会の様子】

おおむたアリーナ落成記念ソフトテニス大会 中学生の部Bパート 優勝
朝日新聞池田杯さよならカップ 準優勝 サッカー一部
学校給食標語 中学生の部 佳作 さん（3年）
「九年間 おもいを伝える いただきます」

さん（1年）「食材に 感謝を込めて いただきます」 ※学校から2名の標語を
さん（2年）「給食を 食べれるよろこび 噛み締める」 提出しました。

